

伊野のまちづくり 垂水邸からオンライン発信



左から常松さん、兼折さん、多久和さん

常松さんは耕作放棄地復活プロジェクトや伊野いちに子どもが参加する取組を紹介。多久和さんはeスポーツ大会や空き家活用で子どもや保護者の交流を深め

る活動を、兼折さんは子どもがお店を開く「子どもマーケット」の取組を発表した。3人のコラボは初めて。互いの想いを共有することができたと満足げに語っていた。

人口減少が急激に進行する島根県。地域の未来を考えて先駆的な取組を行っている人たち（まちづくりプレーヤー）を紹介する企画を県離島中山間地域振興課が「しまねローカルスタイルツアー」と銘打って五回にわたって開催した。最終回は伊野地区から常松守男さん（未来こい！ネット農水部会）、多久和秀政さん（交流部会）、兼折治加さん（教育部会）が、一月一日、垂水邸からオンラインで発表した。

嫁に来て10年、地域に関心が薄かった私 やってみたいことができる場所見つけた

伊野の可能性は無量大

先日、しまねローカルスタイルツアーの案内人として伊野地区の魅力や私自身のことをお話する機会をいただきました。準備にあたり、「やってみよう！未来こい！ネット」や各部会の皆さんの想いなど、知らないことが多いことを感じました。

伊野に住みながら、伊野のことを知らない。そんな方も少なくないのではないのでしょうか。実は、県外の方で「伊野地区」と聞いてピンと来る方がいるほど、伊野地区は注目されています。

私自身、嫁いでくるまで伊野地区の存在を知りませんでしたが、ここ数年でいろいろなお話がわかって、楽しく過ごすことができていることができています。そして、私のやってみたいことができる場所を見つけたことができました。それが、たまたま、伊野でした。

伊野地区は、やってみたいことをかなえることができる地域だと思えます。たくさんの方が全力で応援してくれます。

兼折 治加

ご案内
まちづくりセミナー
2月26日（日）午前
9時半（於コミセン）
講師 「NPOくらし
アトリエ」代表
梅慈子さん
テーマ
日常の暮らしとまち
づくりをつなげる